

< 報道発表資料 >

令和 7 年 3 月 1 4 日

京都市災害ボランティアセンター

京都市文化市民局 地域自治推進室

京都市保健福祉局 健康長寿企画課

令和 6 年度 災害時 要配慮者 支援 研修

～災害に備える、わたしと地域の防災力の向上～

京都市では、この度、令和 6 年度災害時要配慮者支援研修を実施します。

いざという時に自分や家族の命を守るための備え（自助）、また、住民同士の助け合いの取組み（共助）などについて考え、ワークを通して考えを共有します。

【背景と目的】

毎年、日本各地で自然災害が発生していることから、災害への備えについて市民の意識が高まっています。

災害が発生した際に、自助、共助の機能を発揮するためには、普段の暮らしの中から、自分を守る術を学ぶことや住民同士のつながりの構築をすることが重要です。また、普段から福祉的な支援が必要な障害のある方、高齢者、子どもなどの要配慮者は災害をきっかけに複合的な課題に直面することから、それぞれの状況に合わせたきめ細かな配慮が求められます。

災害時における自助、共助、公助とは具体的にどのようなことなのか、そして要配慮者を含む同じ地域で暮らす住民を孤立させないために私たちができることを考える機会とします。

【概要】

- 日時 令和 7 年 3 月 2 3 日（日）午後 1 時 3 0 分～ 3 時 3 0 分

（受付：午後 1 時）

- 場所 ひと・まち交流館京都 3 階 第 5 会議室

（〒600-8127 京都市下京区西木屋町通

上ノ口上る梅湊町 8 3 番地の 1）

- 対象 テーマに関心のある方、
地域活動に携わっている方など

- 講師 荒木 裕子氏
（京都府立大学 生命環境科学研究科 准教授、
一級建築士）



- 定員 50名 ※先着順、要事前申込

- 内容 <講演> (95分)

いざという時に自分や家族の命を守るための備え（自助）、また住民同士の助け合いの取組み（共助）などについて考えます。そして、ワークを通して考えを共有します。

- 参加費 無料

- 申込 下記 URL 又は二次元コードへアクセスいただき、申込フォームへ必要事項を記入の上、お申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScKFkaZFzmFQ3AK98mP4ERLkSa2BOognbcSO06cdvJv7aGcqg/viewform>



- 運営 共催：京都市災害ボランティアセンター

(運営：京都市、社会福祉法人京都市社会福祉協議会、特定非営利活動法人
きょうとNPOセンター)

京都市福祉ボランティアセンター

(運営：社会福祉法人京都市社会福祉協議会)

各区ボランティアセンター

【お問合せ先】

京都市災害ボランティアセンター

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

ひと・まち交流館京都内

TEL：075-354-8728

FAX：075-354-8727

メールアドレス：office@ksvc.jp

受付時間：〔平日〕午前9時～午後5時

※休館日（毎月第3火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始）を除く。